

とやま棚田ネットワーク

朝日町南保に
約30名が集合!とやま棚田ネットワーク
研修会日時 ■ 平成16年8月7日(土)
8:30~16:30

場所 ■ 朝日町南保

- 内容 ■
- ① 棚田保全活動
(そばの種まき・トロロアオイの花摘みなど)
 - ② 農業生産活動・農業振興等
 - ③ 棚田の学習
(わくわく南保活性化協議会 会長 長崎 喜一さん 講演)

日程 ■ 県庁前出発

朝日町役場

朝日町南保(越地区)

そばの種まき
トロロアオイの花摘みなど

らくち~の(更衣)

朝日町農林産物加工施設

昼食は地元農産物を盛り込んだお弁当&みそ汁

説明 「地元農産物加工グループの活動について」
農事組合法人 食彩あさひ 代表 弓野 良子さん講演 「わくわく自然体験ランド」の活動について
わくわく南保活性化協議会 会長 長崎 喜一さん

なないろKAN(視察)

朝日町役場

県庁前解散



▲みんなでまいたソバの種が
立派に開花しました



▲彩りも味も満点のお弁当



▲弓野 良子さん



▲長崎 喜一さん



みんなの参加で棚田を活気づけよう!

とやま棚田ネットワーク委員 助重 雄久

猛暑の中、地元の皆さんとともにそばの種まきやトロロアオイの花摘みなどに汗を流しました。短時間でしたが、棚田での農作業の大変さを実感。また、サルやカモシカによる被害の凄まじさを目の当たりにし、棚田における鳥獣被害対策の必要性も改めて認識しました。オープンしたばかりの朝日町農林産物加工施設では、「食彩あさひ」の皆さん手作りのおいしいお弁当を味わった後、長崎喜一さんと弓野良子さんから、活動を始めた経緯や現在の活動状況について意義深いお話を伺うことが出来ました。これからも多くの方が参加され、農作業体験や地元の方のお話を通して棚田の維持・保全に取り組んでいけるような活動が必要ではないかと思えます。

※トロロアオイの根から取れる粘液は、製紙用の糊として和紙の原料となります。



▲これなら、トロロアオイの花

棚田の恵みはすごい!

大野 康太郎

▲モチキモチスリ



私は種まきを担当しましたが、人海戦術のおかげで作業はまたたく間に終了。猛暑の中、汗を拭きながら、眼下を見たせば、一面の稲穂がゆれ、その向こうに遠く富山湾が光る美しい風景。甘いスイカをいただきながら、参加者にはみな満足げな表情が浮かんでいました。

たっぷりの汗を朝日町宮銭湯「らくち~の」で流し、朝日町農林産物加工施設へ。「食彩あさひ」の方々を心で調理された昼食をいただき、弓野良子さんによる夢講話と、「わくわく南保」の長崎喜一さんの講演を聞きました。名物バタバ茶のお陰で、お母さんたちの親睦はピカイチだったそうですが、男性が一堂に会するのは地区の運動会くらいだったとか。それが、3年前に「わくわく南保」を始めてから、地区全体がよりいっそう親密になったというお話は、とても興味深く、本当に有意義な研修会でした。南保の皆さん、ありがとうございました。



戸津宮



長坂



平山

たずねてみよう
棚田のあるまち
 氷見市編



胡桃



味川



論田



おすすめコース

- 伝統文化体験コース
 ブルーベリー園 → ナンブー王国 → 工房舎「閑農」 → ●坪池棚田
- 棚田見学コース
 ●平山棚田 → 吉岡展望台 → ●長坂棚田 → ●戸津宮棚田 → おらっちゃんのお店
- 自然満喫コース
 地引き網体験 → 氷見市海浜植物園 → 十二町瀧水郷公園 → トンボのビオトープ

ビューポイント
 海抜しの立山連峰と
 日の出の風景
 富山湾の上に3000m級の立山連峰が浮かび朝日が昇る、氷見市が世界に誇る絶景。思い出に落ちる美しい朝日です。



熊無



坪池

棚田を撮る

日本の棚田百選に選ばれた「長坂棚田」の景観を記録しよう！

棚田を体験する

棚田オーナー、竹細工体験、陶芸体験、ブルーベリー摘み取り体験などで交流を深めよう！

棚田を学ぶ

直売所、植物園、トンボのビオトープなどを見学して棚田のまちづくりについて話し合おう！

棚田で



海と山、二つの魅力が楽しめるまち、氷見。里山から海越しに望む立山連峰、海から眺める里山の景観は、まるで天然の「円形劇場」です。
この秋、足を運んで、棚田や里山の自然にふれてみませんか？

体験する

農業体験にチャレンジしよう！

① 長坂棚田オーナー

富山湾越しに立山連峰を望むことができる長坂棚田。その素晴らしい景観から、日本の棚田百選にも選ばれています。春は田植え、秋は稲刈り、はさがけの体験ができるほか、収穫したお米は農業特産品と共に送られてきます。



問/氷見市農林課 TEL 0766-74-8086

竹細工で、むらを宗気に！

② パンパー王国

過疎化が進む床前地区の竹細工による地域復興を願い、竹細工教室「パンパー王国」を開いているのが、岡野綾光さん。高齢者の元気を引き出す副業として、かつての竹細工産地を復活させるために、組合の設立も計画されています。



問/パンパー王国(岡野さん) TEL 0766-76-1985

甘酸っぱ〜くて、とても美味！

③ ブルーベリー農園

サラリーマンから転職し、中山間地で無農薬のブルーベリー栽培に取り組んでいる上野運也さんの農園です。予約すれば、摘み取り体験もできます。



期間/8月中旬頃～7月中旬頃までの水曜と日曜(完全予約制)
問/いなかふれさか(上野さん) TEL&FAX 0766-76-2032

廃校になった校舎が工房に！

④ 工房舎「蘭藝」

廃校になった赤毛小学校を活用したふるさと文化の発信基地。地元の宝住文雄さんを中心とした地域づくりグループが陶芸体験や木工、茶器、トンボ玉制作のための工房を提供。文化交流を図っています。陶芸体験は3月～12月までの毎週金曜日を除いて開催されています。



問/工房舎「蘭藝」(宝住さん) TEL&FAX 0766-76-1178

網の中には何がいるかな？

⑤ 地引き網体験

爽快な朝の潮風に吹かれながら、日本の水浴場88選に選ばれた島尾海水浴場で地引き網を体験。獲れた魚はおいしい大漁網に！



期間/7月下旬頃～8月中旬までの日曜日
問/氷見市島尾キャンプ場 TEL 0766-91-0074

学ぶ

トンボファン、集まれ～！

⑥ トンボのビオトープ

乱橋池周辺は、幻といわれる「マルタンヤンマ」「ネアカヨシヤンマ」を含む65種類のトンボが確認されているトンボの宝庫。トンボハウスには、写真や特徴、観察・研究の成果も展示してあります。



自然に学び、緑と語ろう！

⑦ 氷見市海浜植物園

日本一の規模を誇るマングローブの再現林をはじめ、全国の海浜植物に出会えます。世界の珍しい昆虫標本も人気。



野の幸・山の幸がいっぱい

⑧ おらっちゃんの家

田舎育ちの新鮮野菜・果物・農産加工品などが盛りだくさんの農産物直売所。食べながら交流ができる飲食コーナーもあります。この夏完成したばかりの店舗は、地元氷見の杉をふんだんに使って、すがすがしい木の香りいっぱい。氷見のお母さんたちとの会話も楽しみのひとつです。



問/氷見農産特産品推進協議会 TEL 0766-74-0048



「日本の農と食を見直そう 棚田からの提案」
第10回全国棚田（千枚田）サミット
 開催報告～佐賀県相知町にて～

9月3日～4日、佐賀県相知町で開催された全国棚田（千枚田）連絡協議会総会に出席しました。同時開催された「第10回全国棚田（千枚田）サミット」には、全国から約800名が参加。「日本の農と食を見直そう 棚田からの提案」をテーマに、棚田の保全や振興策などについて語り合いました。

八幡岳中腹に1050枚もの棚田が連なる藤野地区（佐賀県相知町）では、日本一高いといわれる8.5mの高石積み、平均3m・総延長30kmを超える石積みを視察。その規模の大きさと手入れの行き届いた棚田に圧倒されました。また、当地区では菜の花交流会、初夏の棚田ウォークのほか、佐賀大学農学部と地域間協定を結んで棚田の遊休農地の利活用を柱とした棚田保全活動を行うなど、町や住民が一体と

なってさまざまなイベントに取り組まれています。現地視察を通して、棚田を守っていく住民の熱意やネットワークによる棚田保全活動の重要性を改めて認識しました。



その棚田は圧倒的に日本一高いといわれる8.5mの高石積み



▲八幡岳の中腹に連なる棚田は、なんと1050枚！

これからの棚田保全を考える意見

- ・棚田に関わる市民を増やす必要性。
- ・地域で採れたものを使って料理し、食べることが大切。
- ・絶滅危惧種のうち30%が田んぼの生物である。
- ・棚田の自然環境（景観）は、農業者の仕事によって守られている。
- ・有機農法や広葉樹植栽運動などを棚田的なものと表現。

※次回、第11回全国棚田（千枚田）サミットは愛知県鳳来町で開催されます。

「とやま棚田写真展」の作品募集

山の斜面や丘陵地に段々と連なる棚田の景観の美しさは、先人が築き上げてきた文化遺産であり、人々の心に深いや安らぎを与えています。そこで、棚田の素晴らしさを守り伝えていくため、棚田の写真を広く募集します。



▲八尾町三原

●テーマ・・・県内の棚田の景観、生態系、保全活動、収穫祭、あるいは棚田で収穫された農産物の販売など、棚田の素晴らしさを表現した写真。

●規格・・・白黒またはカラーとし、サイズは六切り、六切りワイドとします。デジタルカメラで撮影した写真でプリンターにて印刷する場合は、A4サイズでも構いません。

●募集期間・・・平成16年12月末まで

●問い合わせ先・・・富山県農村環境課 中山間地域振興班
 TEL 076-444-9011

http://www.pref.toyama.jp/sections/1605/tanada/toppage/tanada_top.html

水見市長坂
 棚田オーナーの皆さん



あなたも棚田通信員（ボランティア）になりませんか？

とやま棚田ネットワーク委員会では、県内の棚田保全活動の推進を目的として、棚田の情報収集などを行う「棚田通信員」を募集しています。

Q.棚田通信員で、何をしますの？

県内の棚田に関する写真または通信文（100～200字程度）を送付していただきます。

例えば・・・1.四季折々の棚田の農作業風景・景観

2.保全活動、イベント

この集落ではこんな事をしています。楽しんでいますetc

3.自然、動植物、昆虫の状況報告

絶えゆく草花があります。こんな草花が咲いています。きれいな湧水があります。ホタルがいます。鳥の音が聞けますetc

※なお、いただいた情報を電子メディア、出版物などに使用する場合もありますので、あらかじめご了承ください。

Q.通信員になるにはどうしたらいいの？

とやま棚田ネットワーク事務局まで電話またはFAXにてお申し込みください。※住所、氏名、年齢、電話番号、会員番号、メールアドレスをお聞かせください。

事務局からのお願い・・・住所などの変更がございましたら、お手数ですが事務局までご連絡ください。

とやま棚田ネットワーク会報誌VOL.6/2004年9月30日発行

【入】会【状】況！平成16年9月10日現在523名の方が棚田仲間になりました。

お便り募集 会報誌の感想、棚田に関する情報・意見など、あなたの声をお寄せください。また、会報誌に掲載する棚田写真を募集中です。郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号・会員番号をお書き添えのうえ、郵送にてお送りください。

とやま棚田ネットワーク事務局

富山県農林水産公社設計管理課内

〒930-0096 富山市舟橋北町4-19

TEL 076-441-7398 FAX 076-444-3851

Eメール sekn6@taff.or.jp

ホームページ <http://www.taff.or.jp>

